

# そよかぜ

## 通信

発行責任者

北本市議会議員 **金森すみ子**

〈2024年4月 No. 20〉

連絡先 金森すみ子とあゆむ会

北本市東間 8-230-172

電話・Fax 048-542-8794

e-mail yts1171124914@gmail.com

今年の桜は、久々に入学式を華やかに彩りました。新年度の始まりに心躍ります。市議会とは、早いもので改選されて一年が経過します。私たち議員は、活動を共にするグループ(会派)を作り、暮らしやすい北本となるよう、行政の監視等に努めているところです。私の所属する会派「みらい」では、3月末に市政の状況を、新聞折り込みで報告させていただきました。近頃では、新聞を購読しない方も多くいらっしゃいますので、私の「そよかぜ通信」でも議会の様子をお知らせします。会派「みらい」の報告と重なる内容もありますが、ご了承ください。

※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※-----※

### 令和6年第1回北本市議会定例会 が開催されました。(2/20～3/22)

- ▶ 市長からの提出議案 → 令和6年度の一般会計予算・特別会計予算・公共下水道事業会計予算7件、条例11件、補正予算7件、人事案2件、など合計33件
- ▶ 議員からの提出議案 → 条例改正など3件、請願2件

### 後期高齢者医療保険料が改定されます (令和6年度から)



後期高齢者医療については、“後期高齢者医療広域連合”が県全体を取りまとめています。医療の対象は、75歳以上の方と、一定の障害と認定された65～74歳の方となります。また、医療給付費の負担については、後期高齢者(保険料)は、全体の約1割、現役世代(支援金)は約4割、国・県・市の負担が約5割、となっています。今後、団塊の世代が後期高齢者となり、一人当たりの医療費も膨張していくと予測されますが、現役世代は減少の傾向ですので、その負担は大きくなると見込まれています。広域連合では、“保険料”を2年ごとに見直しをして、医療給付費の増加分に対し、後期高齢者と現役世代で折半するように努めています。

上記の理由により、広域連合から示された**令和6～7年度の保険料(率)**は、表に示す様に

均等割額	4万 5,930 円 (現在より1,760 円の増)
所得割率	9.03% (現在より0.65 ポイントの増)

**引き上げ**となります。尚、所得の状況に応じて、大きく増加しないよう緩和の措置がなされます。

### 介護保険料が改定されます (令和6年度から)

介護保険制度では、65歳以上の方は、介護認定を取得することで、介護保険サービス(在宅や施設などでの生活支援)を受けることができます。市全体の費用負担については、第1号被保険者(65歳以上の方)が全体の約2割、第2号被保険者(40～64歳の方)が約3割、国・県・市の負担が約5割、となっています。北本市では、3年ごとに“介護保険サービス利用に必要な費用の見込み”を積算し、第1号被保険者(65歳以上の方)の保険料を見直しています。



**令和6～8年度**については、現在より、第1号被保険者は0.2%増え、介護保険サービス利用費は10.7%伸びると予測されています。また、第2号被保険者が減少していく為、負担増を抑制させる必要があります。よって、**第1号被保険者の保険料**を約16%引き上げ、保険事業の健全運営を図ります。高所得者の保険料負担額を増やし、低所得者の保険料上昇を抑えます。

〔例〕基準額となる第5段階の方 … 年間 6万円 → 6万9,600円



令和6年度は、6年に1度の、後期高齢者医療保険料と介護保険料の同時改定の年となり、対象となる方は負担を大きく感じると思います。医療や介護サービスは、使うためのものですが、制度の性質上、必要以上に使ってしまう傾向のある自治体の場合、その後の保険料は大きく増額していきます。昨今では、介護予防の取り組みを強化し、適切な医療・介護保険サービスの利用につなげることが求められています。

**令和6年度予算は 総額 407 億 9,088 万円に**（前年度比 14億 7,725 万円の増）

区 分		令和6年度	前年度比
<b>① 一般会計</b> （市民行政サービスに関するもの）		<b>242 億 1,000 万円</b>	<b>+3.2%</b>
	<b>民生費</b> （高齢者・障がい者・児童・子育てへの福祉、生活保護費用など） 障がい者・高齢者への事業費、子ども医療費など増加、学童保育室の新設で前年度より ↑		45%
	<b>総務費</b> （情報システム・税金徴収などへの経費、人件費、委託料など） ふるさと納税や総合振興計画の経費、人件費などが増え前年度より ↑		15%
	<b>教育費</b> （小・中学校、生涯教育など） 小・中学校体育館にエアコン設置、体育センター改修などで前年度より ↑		11%
	<b>公債費</b> （借金返済）		8%
	<b>土木費</b> （道路・橋・河川の維持、公園整備など）		8%
	<b>衛生費</b> （し尿・ごみ処理、健診委託など）		7%
特別会計	後期高齢者医療特別会計 （主に75歳以上の医療費に関するもの）	12 億 6,470 万円	+10.4%
	<b>② 久保特定土地区画整理事業特別会計</b> （北本市南部の久保地区の区画整理に関するもの）	10 億 4,560 万円	+55.8%
	国民健康保険特別会計 （国民健康保険に加入者の医療費などに関するもの）	64 億 3,520 万円	+1.2%
	介護保険特別会計 （65歳以上の介護保険サービス利用・介護予防などに関するもの）	60 億 1,400 万円	+2.2%
	埼玉県央広域公平委員会特別会計 （市職員の勤務や人事管理への相談助言等の措置に関するもの）	47 万 6 千円	- 0.8%
企業会計	公共下水道事業会計 （市内下水道の維持管理、使用料に関するもの）	18 億 2,090 万 6 千円	+1.8%
総 計		407 億 9,088 万 2 千円	+3.8%

## ① 一般会計は、過去最大となります！

### < 歳入 … どのように工面するの？ >

市税は、前年度比 -0.7%、地方交付税は、前年度比 +12.5%と見込まれます。

（市民税は所得の伸びで増え、固定資産税は評価替えて減る）

基金（貯金）からの繰り入れを、前年度比 +11.3%と増やします。

（ふるさと応援基金から5億 3,200 万円、南部地域整備基金から 5,697 万円など）

### < 歳出 … 市民の安心な生活のための施策は？新規の主な取り組みをお伝えします >

▶（仮称）中丸第2学童保育室を建設 6,993万円… 混雑解消を目的とした建設で、

定員 80 名、令和 7 年 4 月開室予定。昨年12月議会で議決済みです。

▶ 小・中学校の体育館にエアコンを設置する為の設計 1,984 万円… 酷暑時季の体育授業や、災害時避難所の、環境改善を図ります。工事はR7年度からの予定です。

▶ 体育センターの特定天井などを改修 3 億 5,000 万円… 耐震基準を満たしていない部分

（メインアリーナ・サブアリーナ・正面入口の天井）を改修し、施設利用や災害時避難時の安全対策など。

▶ 文化センター大規模改修の設計 754 万円… 当施設は、修繕もしないまま40年経過しています。公共施設管理計画では更に40年使用する予定で、市は“建て替え”ではなく“改修”の選択をし、費用を抑えろとのことです。それでも、30億円程度係ると想定されます。改修することで、こんなにも費用が係るものなのか、現代のニーズに適したものになるのか、など費用対効果の点で疑問があり、注視していきます。

▶ 石戸下踏み切りの拡幅の工事 9,300 万円… ベルクニツ家店付近の踏切は、幅が

車1台分程度しかなく、車の渋滞や歩行者の安全面が以前から問題となっていました。R7年度の完成を目指し、踏切と接続道路を拡幅し歩道を設置します。

▶ 返済不要の奨学金を給付 800 万円… 経済的な理由により進学・就学が困難と認められる場合、最大60万円/年を給付します。ふるさと応援基金（ふるさと納税からの貯金）を充当。

▶ 社会との関わりに不安を抱えている方などへの支援 754 万円… 地域や社会とのつながりに向けた支援を継続し、ひきこもりの方などの居場所づくりを新たに進めます。

また、様々な要因で就労に向かえていない生活困窮者に、就労支援員を新たに配置し、一般就労への基礎能力形成の支援をします。

▶ 自転車用ヘルメットの購入費の一部を補助し普及促進 180 万円… 補助対象は、今年 4/1以降に購入、安全認証マーク付、市内在住。補助額は、購入金額の 1/2（上限 2,000 円）、申請は、5/10～ホームページ又は市役所窓口にて。予算上限に達したら終了です。

〔他に… 公立保育園等の登退園の連絡などがスマホ利用可能に、“毎日一万歩運動”へ  
スマホで参加可能に、骨密度検診の導入、総合公園トイレ洋式化、など〕

令和6年度の学校給食費の保護者負担は、中学校では0円ですが、小学校では4,500 円/月となり、物価高騰分は市が負担します。この判断について市長は、「国・県からの補助が見込めず、改めて市全体の諸課題を洗い出し、優先度を精査した」とのことです。今後は、文化センターの大改修や小学校給食室の改修も控えており、何を優先するべきなのか、注視してまいります。

② 久保特定土地区画整理事業特別会計では、一般会計から 2 億 8,475 万円を投入する等区画整理の早期完成を目指します… 西中通り線・久保大通り線を整備（2 億 7,260 万円）



## 金森すみ子の一般質問



## ① ごみ減量への取り組みについて

**問1** 「段ボールコンポスト」の利用は、手軽に生ごみの減量に関わることができ、市民の環境問題への意識向上に役立ちます。補助金を出すなどして、積極的に普及に努めている自治体も見られます。本市の普及啓発について、その方法と補助金対象にできないか、伺います。

**問2** 「使い捨てコンタクトレンズのケース」は、高純度プラスチックを使用しており、他の製品に再生しやすいとされています。販売メーカーと協力し、空ケースを回収してリサイクル促進に取り組む自治体や学校も増えてきています。本市の見解を伺います。

**答1** 「段ボールコンポスト」は、庭や菜園を持つ方には有効な減量方法ですので、制作や使用方法について、ホームページ等で周知していきます。補助金については、安価に購入できること、コンポスト基材の入替えの際の土が処理困難物であることなどから、現段階では考えていません。

**答2** プラスチック資源循環の促進に関する法律が令和4年に施行され、プラスチック使用製品のリサイクルに関心が高まっています。空ケースの回収については、市としてもプラスチックごみ削減の一環として有効と考え、コンタクトレンズ製造販売元と協力し、検討しています。

**〔要望など〕** 段ボールコンポスト内の土の処理に困難な場合がある、との答弁がありました。岐阜市などでは、段ボールコンポストで作った堆肥を家庭で使いきれない場合、市で回収し学校の花壇などで活用しています（生ごみ地域循環事業）。できない理由ではなく、こうしたらできる、の発想で取り組んでいかなければ、ごみの減量は進みません。また、補助金の考え方については、安価だから補助金対象にならない、との判断で良いのでしょうか。市民のごみ減量への意識を高める、市民の今までの常識を変えていく、という観点に重きを置いて判断してはと考えます。



## ② 空き家の発生予防について（「お家の終活ノート」の活用について）

**問** 市内の空き家は増加傾向です。発生の予防のためには、所有者が住んでいるうちから、相続に向けた対策を始めることが重要です。その手段として、建物に特化した終活ノートの活用が効果的であるとされています。鴻巣市では既に取り組んでいますが見解は。


**答** 「お家（うち）の終活ノート」では、空き家の発生を防止するために、所有者が亡くなった後の建物の利活用や売却などの意向を、家族や相続人に伝えることができます。将来の空き家発生予防に大変有効で、先進自治体の例を参考に検討していきたいと考えます。

**〔要望など〕** 「現在住んでいる家を、今後どうしていくのが望ましいのか」については、高齢の父親と同居する私にとっても、大変身近な問題です。お家の終活ノートが活用できれば、相続する家族などが、事前に相談し合うことへのハードルが低くなります。是非取り組んでいただきたいです。

**③ 成人健診について** 胃の内視鏡検査の導入など、検査項目・方法の拡充を求める

**④ 市民に身近なSDGsへの取り組みについて** 誰でも簡単に取り組める事例を標語形式で紹介した「これも立派なSDGsシール」を公共施設内に掲示するなど、の取り組みを求める

## \*-----\* 議員提出議案 -----\*

- ▶ 良質な学童保育事業の実施と環境整備を求める請願 **採択** (10 対 9…私は賛成しました) 
- ▶ スクラップヤードの騒音・振動などから市民の生活環境を守ることを求める請願 **採択** (全会一致)